



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 5 年 7 月 31 日 第 126 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

第 1 回湘南西部圏域自立支援協議会の概要について

令和5年7月26日（水）に、伊勢原市立中央公民館で開催しました。今回は委員改選期にあたり、新たな会長として平塚市障がい者自立支援協議会会長の遠藤年彦氏（所属：平塚市社会福祉協議会）、副会長に秦野市手をつなぐ育成会会長の相原和枝氏が就任されました。また、神奈川県障害者権利擁護センター、かながわ医療的ケア児支援センター湘南西部ランチの2機関がオブザーバーとして新たに参画いただくことになりました。



異動等により新たに11名の委員が就任されました

今回は、各機関の今年度の事業予定を中心に情報交換と意見交換を進め、課題等を共有しています。神奈川県からは、「相談支援事業所開設促進セミナー」（障害福祉課）、「政策立案過程への障がい当事者の参加及び意思決定支援の推進について」（共生推進本部室）の説明がありました。以下、会議でのトピックスと概要を掲載します。

〈地域生活支援拠点〉

令和元年度以来4年ぶりに地域生活支援拠点の整備状況と課題を共有しました。4年前は、秦野市が「設置済み」で、残り4市町は「未設置」でしたが、今回は「準備中」が2市町、「検討中」が2市町となりました。設置に向けた課題としては、面的整備の事業所指定にむけた事業所への周知方法、対象となる事業種別の選定、指定基準の設定、単独加算の検討などが挙げられ、他圏域での取り組みなどの情報等を共有しました。

〈特別支援教育関連〉

- コロナ明けで4年ぶりに高等部の同窓会を開催できた。
- 湘南ベルマーレ・平塚市内の県立特別支援学校4校・学識経験者・湘南ジャーナル社が発起人となった「INCLUSIVE HUB SHONAN」（インクルーシブハブ湘南）が発足。「ハブ」とは車輪などの中心部を指し、物事を中心や中心核という意味でも使われる。インクルハブが学校、幼児児童生徒、地域社会それぞれの課題解決に向け「ハブ」となると必要なもの同士をつなぐという新しい取組。双方向の活用や情報発信を行っていく。



《グループホーム関連》

- 平塚市障がい者自立支援協議会知的分科会では、平塚市グループホーム連絡会を今年度は3回開催する。事前アンケートに基づき、課題別でグループワークを行う。
- 秦野市障害者支援懇話会福祉サービス部門に今年度から秦野市グループホーム連絡会が組織され、サービス管理責任者等が参加する。2日間コースの研修会も予定されている。
- 今年度から伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会相談支援部会の分会として伊勢原市グループホーム連絡会が開催される。8月に勉強会として開催する予定である。
- 重度障害のある方の入所施設として、地域生活移行を促進するために、日中サービス支援型グループホームの設立を検討している。

《重層的支援体制整備事業》

秦野市が4月から開始しており、平塚市は10月から移行準備事業を開始予定です。

《医療的ケア児関連》

昨年度の本協議会の議題として扱った、医療的ケア児等コーディネーターの配置では、各市町とも令和5年度からを目標にしていたが、予定通り全ての市町が配置を終えていることが確認できました。地域によって、医療的ケア児の実態把握調査の継続、災害時の個別避難計画の作成が予定されています。かながわ医療的ケア児支援センター湘南西部ランチからは、事業所で一人で働く看護師には負担感や孤独感があり、事業所での看護師不足の背景に「医療情報不足」「医療機関との連携の困難さ」「事業所の看護師が集う場がない」「病院の様に看護師を守る仕組みがない」「医師に相談できる体制がない」などの課題があることが書面で報告されました。

《その他の課題》

各機関の活動から見えてきた課題等を共有しました。

- 福祉人材の確保が難しい。このまま続けば、事業継続が危ぶまれることも想定される。
- ヘルパーさん、移動支援の事業所が見つかりづらい。
- 特別支援にかかわらず、教員の入れ替わりが多く指導や支援の方法が定着しづらい状況。
- 高等学校から発達障害と考えられるケースの相談が昨年から今年にかけて複数件ある。義務教育段階からの切れ目のない支援の必要性を感じる。
- 市町協議会で日中サービス支援型グループホームの事業評価等を行う際に、質の担保を目的に、市町が作った評価基準を利用することはできないものか。 など

参加する各機関が様々な領域で支援を展開し、課題を把握していることが改めて明確になりました。2月に開催する第2回会議では、その後の取り組みの成果を共有する予定です。

【あとがき】 県内の新型コロナ感染者数が初めて1万人を超えたのは、去年の7/20でした。5類に移行して、私たちの生活は以前の落ち着きを取り戻しつつありましたが、最近じわじわ増えてきている実感がありますね…。
